

## 1. 背景・課題及び目的

### 「背景」

- 気候変動問題が世界的な課題となる中、CO<sub>2</sub>の吸収源として期待されている**ブルーカーボン生態系**と呼ばれる藻場を創出する取組が注目

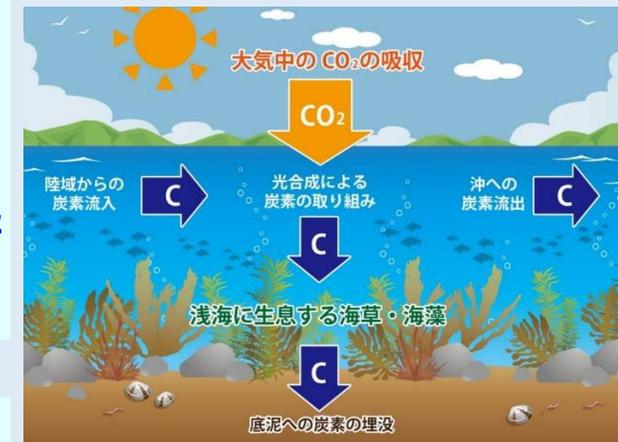
### 「東京港における藻場創出に向けた課題」

- 夏場の濁りや高水温など生育環境が厳しいことや、航行船舶が多いことから、**藻場の創出に適した箇所は限定的**
- 東京港における藻場創出には**人の手による移植**が必要

- これらの課題を踏まえ、東京港においては、ブルーカーボン生態系が併せ持つ、多様な生物の生息場や環境学習の場としての機能に着目し、**藻場創出のための活動を中心に取組を推進**

- このため、以下をとりまとめた『東京港藻場創出の活動方針』を策定

- ①東京港での生育に適合する海草・海藻種、②移植方法や藻場創出活動の方法、③東京港内で藻場を優先的に整備する箇所



〔参考〕ブルーカーボン生態系イメージ

## 2. 藻場創出活動

### ①東京港での生育に適合する海草・海藻種

- 生育環境への適合性と遺伝子攪乱リスクの観点、移植方法の確立等の条件から、海草類は「アマモ」及び「コアマモ」、海藻類は「ワカメ」を選定

### ②移植方法や藻場創出活動の方法

#### ◆移植方法

- アマモは種子(播種シート)、コアマモは生体株、ワカメは種糸から移植
  - ※採取地の藻場の保全のため、生育状況を踏まえ適切な量の種子・株を採取
  - ※遺伝子攪乱を防ぐため東京湾内で採取
- 必要に応じ栄養塩や鉄分などの供給による生育促進や、食害対策を検討



アマモ (海草)



ワカメ (海藻)



播種シート (アマモ)



種子(アマモ)

種糸(ワカメ)



種糸 (ワカメ)

## ◆藻場創出活動の方法

- 藻場創出活動において**NPO・民間企業の参画を予定**
- 活動にあたり、**イベント形式で都民に環境学習の機会**を提供し、**参加者の環境対策への意識向上**につなげる

〔イベント例〕 アマモ：花枝採取、種子選別、播種  
ワカメ：種付け、収穫

※航行船舶の多さ、厳しい生育環境等の制約により藻場創出の対象箇所が限定的であり、**環境学習機会の提供が重要**

- 移植したアマモ等は、都がモニタリングを行い生育環境を確認

## ③東京港内で藻場を優先的に整備する箇所

### ◆優先的に整備する箇所

- 整備箇所は、**透明度や水温、航行船舶への影響**に加え、**環境学習におけるアクセシビリティ**等を考慮して選定
- ※整備箇所は右図に記載

### ◆生育基盤整備

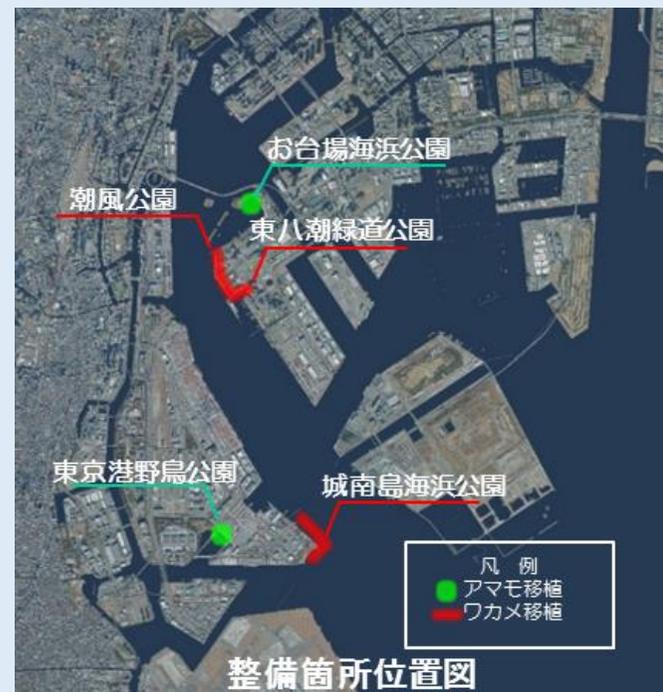
- アマモ・コアマモの**生育に適する箇所**を確保するため**生育基盤整備**を実施
- 生育基盤整備として、**覆砂、滞筋整備**(海水交換のための道筋)、**底質改良**を実施



花枝採取(アマモ)



環境学習



整備箇所位置図

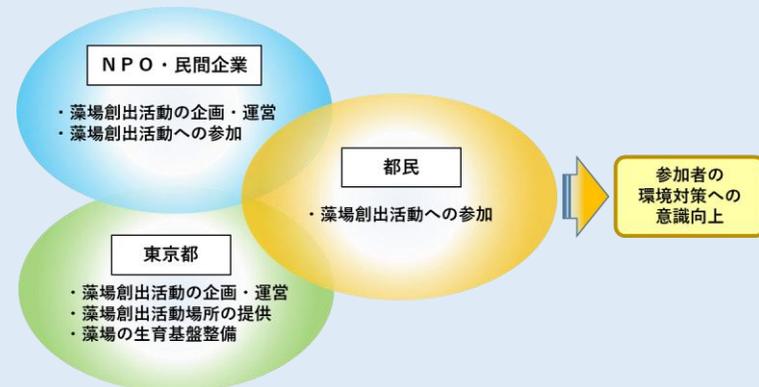
凡 例  
● アマモ移植  
● ワカメ移植

## 3.藻場創出による効果

- 多様な生物の生息・生育環境の形成**  
(生息場の提供、産卵・保育場の提供、基礎生産力の向上等)
- 栄養塩が藻場に貯留される循環による**水質浄化効果**
- 大気から海水に溶け込んだ**CO<sub>2</sub>を藻場が吸収**し、炭素化合物として貯留



- 藻場創出にあたり、NPO、民間企業、都民の参加を募ることにより、**参加者の環境対策への意識が向上**



環境対策への意識向上イメージ